



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 テルモ株式会社

コード番号 4543 URL http://www.terumo.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 新宅 祐太郎

問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 大曲 昌夫 TEL 03-6742-8550

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 平成28年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	245,110	△5.4	39,370	0.7	30,601	△14.4	20,423	△24.4
28年3月期第2四半期	259,167	11.1	39,102	18.5	35,758	5.1	27,012	23.5

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △26,328百万円 (-%) 28年3月期第2四半期 23,117百万円 (△46.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	56.27	52.49
28年3月期第2四半期	71.50	66.90

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	886,019	478,118	53.9	1,316.12
28年3月期	901,685	511,544	56.7	1,408.53

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 477,711百万円 28年3月期 511,252百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	19.00	—	20.00	39.00
29年3月期	—	20.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	21.00	41.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	517,000	△1.5	75,000	△8.2	65,000	△11.1	47,500	△6.3	130.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

・下期想定レート；1ドル=105円、1ユーロ=115円

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	379,760,520株	28年3月期	379,760,520株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	16,791,664株	28年3月期	16,790,714株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	362,969,363株	28年3月期2Q	377,798,761株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日～平成28年9月30日）における医療市場は、海外では米国を中心に大手医療機器企業による事業売却や買収が発表されるなど、業界再編の動きが見られました。日本では、4月に薬価・公定価改定が実施され、財源の重点的・効率的な配分に向けて、費用対効果評価が試行導入されるなど、医療経済性へのニーズが高まっています。

このような環境の下、当社グループでは現在、「世界で存在感のある企業になる」という目標を掲げ、カンパニー経営を軸に持続的かつ収益性のある、質の高い成長を目指して経営を推進しております。当第2四半期連結累計期間における主なポイントは以下のとおりであります。

- 心臓血管カンパニーでは、カテーテル（TIS）事業においてアクセスデバイスの販売が好調に推移しました。薬剤溶出型冠動脈ステント「Ultimaster」は、当期よりフランス、ブラジル、韓国でも販売を開始し、各地域で堅調に推移しました。また、日本ではステント径4mmの製品をラインアップに追加し、8月に販売を開始しました。
- ホスピタルカンパニーでは、日本において閉鎖式輸液システムなど輸液ラインの販売が堅調に推移しました。海外では、欧州、中南米を中心に低収益事業の縮小を進めるなど、収益性改善に取り組みました。
- 血液システムカンパニーは、前期下期に実施された米国の血液センター向け製品の価格改定に加えて、円高によるマイナスの影響により減収となりました。

当第2四半期連結累計期間の業績は次のとおりであります。

<売上高>

売上高は、前年同期比5.4%減の2,451億円となりました。

（単位：百万円）

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率 (%)
売上高	259,167	245,110	△5.4	4.6
売上総利益	139,357	136,008	△2.4	7.6
営業利益	39,102	39,370	0.7	11.2
経常利益	35,758	30,601	△14.4	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	27,012	20,423	△24.4	—

（単位：百万円）

地域別売上高	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率 (%)
日本	90,343	91,803	1.6	1.6
欧州	50,347	45,451	△9.7	4.7
米州	71,969	64,652	△10.2	5.1
アジア他	46,506	43,203	△7.1	9.8
海外計	168,823	153,306	△9.2	6.3
合計	259,167	245,110	△5.4	4.6

日本では、薬価・公定価改定の影響を受けながらもTIS事業やニューロバスキュラー（脳血管）事業が牽引し、増収となりました。海外では、TIS事業でアクセスデバイスやUltimasterなどの販売が好調に推移しましたが、全社では円高の影響により、減収となりました。

<売上総利益>

売上総利益は、円高による減収を原価改善等により一部カバーしましたが、前年同期比2.4%減の1,360億円となりました。

<営業利益>

営業利益は、売上総利益の減少に対し、円高の影響により販売費及び一般管理費が減少した結果、前年同期比0.7%増の394億円となりました。

<経常利益>

経常利益は、円高の進展に伴い前年同期比で為替差損が42億円増加した結果、前年同期比14.4%減の306億円となりました。

<親会社株主に帰属する四半期純利益>

親会社株主に帰属する四半期純利益は、為替差損の増加に加えて、前年同期に土地売却に伴う特別利益44億円を計上したこともあり、前年同期比24.4%減の204億円となりました。

事業セグメント別の売上高の状況は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

事業セグメントの名称		前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率 (%)
心臓血管カンパニー	売上高	125,542	121,540	△3.2	9.9
	(日本)	22,774	24,500	7.6	7.6
	(海外)	102,768	97,039	△5.6	10.4
ホスピタルカンパニー	売上高	80,830	78,242	△3.2	0.3
	(日本)	62,004	61,485	△0.8	△0.8
	(海外)	18,825	16,756	△11.0	4.0
血液システムカンパニー	売上高	52,794	45,227	△14.3	△1.3
	(日本)	5,564	5,717	2.8	2.8
	(海外)	47,230	39,510	△16.3	△1.7

<心臓血管カンパニー>

日本では、TIS事業において、2015年10月より販売を開始したUltimasterの売上貢献に加えてアクセスデバイスの販売が好調に推移しました。さらに、ニューロバスキュラー事業も好調に推移し、公定価改定によるマイナスの影響をカバーして増収となりました。海外では、各地域でアクセスデバイス及びUltimasterの販売が堅調に推移しましたが、円高の影響により減収となりました。

その結果、心臓血管カンパニーの売上高は前年同期比3.2%減の1,215億円となりました。

<ホスピタルカンパニー>

日本では、閉鎖式輸液システムなど輸液ラインの販売が堅調に推移しましたが、薬価改定に加えて、昨年10月に富士製薬工業株式会社へ造影剤の販売を移管した影響もあり、減収となりました。海外では、欧州、中南米を中心に収益性改善に向けて低収益事業を縮小したことに加え、円高の影響もあり、減収となりました。

その結果、ホスピタルカンパニーの売上高は前年同期比3.2%減の782億円となりました。

<血液システムカンパニー>

日本では、第2四半期以降、血液センター向け製品で顧客の納入時期変更による影響の解消が進み、増収となりました。海外では、前期下期に実施された米国の血液センター向け製品における価格改定の影響に加えて、各地域で円高の影響を受け、減収となりました。

その結果、血液システムカンパニーの売上高は前年同期比14.3%減の452億円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ157億円減少して8,860億円となりました。

流動資産は売上債権の減少等により、62億円減少して3,685億円となりました。

固定資産は、89億円減少して5,127億円となりました。有形固定資産は60億円減少、無形固定資産は23億円増加、投資その他の資産は52億円減少となりました。

(負債)

負債の部は、無担保社債の発行等により、178億円増加して4,079億円となりました。

(純資産)

純資産の部は、334億円減少して4,781億円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ2.8ポイント減少し、53.9%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

円高の進展を受けて想定為替レートを見直しましたが、円高の影響を除くと、海外のカテーテル事業を中心に業績は堅調に推移しており、概ね計画通りであることから、売上高、営業利益につきましては、平成28年5月10日に公表した従来予想を変更していません。

一方、円高の進展に伴い、営業外費用である為替差損の発生額が従来予想よりも多くなる見込みであることに加え、平成28年7月に買収したSequent Medical, Inc.を当第2四半期より連結したことに伴い、下期に買収に伴う一時費用が特別損失として発生する見込みです。これらの要素を反映し、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益を下記の通り修正いたしました。（下期想定レート：1ドル=105円、1ユーロ=115円、通期想定レート：1ドル=105円、1ユーロ=116円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 517,000	百万円 75,000	百万円 71,000	百万円 52,500	円 銭 144.64
今回修正予想 (B)	517,000	75,000	65,000	47,500	130.87
増減額 (B-A)	—	—	△6,000	△5,000	—
増減率 (%)	—	—	△8.5	△9.5	—
(参考) 前期実績	525,026	81,703	73,090	50,676	135.14

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	149,672	155,383
受取手形及び売掛金	104,426	94,890
商品及び製品	59,132	59,377
仕掛品	10,194	10,210
原材料及び貯蔵品	27,126	26,950
繰延税金資産	14,963	14,312
その他	10,621	8,630
貸倒引当金	△1,390	△1,210
流動資産合計	374,746	368,543
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	65,207	62,261
機械装置及び運搬具(純額)	54,362	50,477
土地	23,297	22,596
リース資産(純額)	881	829
建設仮勘定	21,417	22,986
その他(純額)	10,628	10,616
有形固定資産合計	175,794	169,768
無形固定資産		
のれん	143,707	145,530
顧客関連資産	90,750	78,726
その他	56,056	68,534
無形固定資産合計	290,514	292,791
投資その他の資産		
投資有価証券	37,724	32,143
繰延税金資産	3,436	4,131
その他	14,186	13,915
投資その他の資産合計	55,348	50,190
固定資産合計	521,657	512,749
繰延資産		
繰延資産合計	5,281	4,725
資産合計	901,685	886,019

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	36,294	34,216
短期借入金	61	—
1年内返済予定の長期借入金	19,839	17,819
リース債務	256	158
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
未払法人税等	9,778	7,954
繰延税金負債	56	41
賞与引当金	5,869	5,439
役員賞与引当金	170	76
設備関係支払手形及び未払金	5,451	4,442
資産除去債務	—	301
その他	51,057	43,995
流動負債合計	168,835	154,445
固定負債		
社債	—	30,000
転換社債型新株予約権付社債	100,184	100,159
長期借入金	58,873	56,937
リース債務	286	265
繰延税金負債	45,079	43,831
役員退職慰労引当金	66	14
退職給付に係る負債	8,656	8,237
資産除去債務	230	61
その他	7,925	13,948
固定負債合計	221,304	253,455
負債合計	390,140	407,900
純資産の部		
株主資本		
資本金	38,716	38,716
資本剰余金	50,928	50,928
利益剰余金	419,573	432,737
自己株式	△64,040	△64,044
株主資本合計	445,178	458,337
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,308	12,321
繰延ヘッジ損益	△13	△22
為替換算調整勘定	63,182	18,885
退職給付に係る調整累計額	△13,403	△11,810
その他の包括利益累計額合計	66,074	19,373
新株予約権	183	250
非支配株主持分	109	156
純資産合計	511,544	478,118
負債純資産合計	901,685	886,019

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）
売上高	259,167	245,110
売上原価	119,809	109,101
売上総利益	139,357	136,008
販売費及び一般管理費	100,255	96,638
営業利益	39,102	39,370
営業外収益		
受取利息	348	247
受取配当金	228	151
受取ロイヤリティー	96	82
その他	523	519
営業外収益合計	1,198	1,001
営業外費用		
支払利息	694	593
売上割引	209	223
為替差損	2,386	6,595
持分法による投資損失	157	304
たな卸資産処分損	38	701
その他	1,054	1,353
営業外費用合計	4,541	9,770
経常利益	35,758	30,601
特別利益		
固定資産売却益	4,819	25
投資有価証券売却益	776	—
特別利益合計	5,596	25
特別損失		
固定資産処分損	193	115
減損損失	799	—
特別損失合計	992	115
税金等調整前四半期純利益	40,362	30,511
法人税、住民税及び事業税	14,757	9,460
法人税等調整額	△1,392	675
法人税等合計	13,364	10,135
四半期純利益	26,997	20,376
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△15	△47
親会社株主に帰属する四半期純利益	27,012	20,423

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	26,997	20,376
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,604	△3,986
繰延ヘッジ損益	0	△4
為替換算調整勘定	△1,654	△44,302
退職給付に係る調整額	380	1,593
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	△4
その他の包括利益合計	△3,880	△46,704
四半期包括利益	23,117	△26,328
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	23,134	△26,276
非支配株主に係る四半期包括利益	△17	△51

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	心臓血管 カンパニー	ホスピタル カンパニー	血液システム カンパニー	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	125,542	80,830	52,794	259,167	—	259,167
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	125,542	80,830	52,794	259,167	—	259,167
のれん等償却除くセグ メント利益	29,284	11,724	9,977	50,986	△1,668	49,317
セグメント利益	28,376	11,724	670	40,770	△1,668	39,102
のれん等償却除くセグ メント利益率(%)	23.3	14.5	18.9	19.7	—	19.0

(注) 1. セグメント利益の調整△1,668百万円には、たな卸資産の調整額△779百万円、その他△889百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「心臓血管カンパニー」セグメントにおいて、収益性が低下した資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては664百万円であります。

報告セグメントに帰属しない遊休資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては134百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	心臓血管 カンパニー	ホスピタル カンパニー	血液システム カンパニー	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	121,540	78,242	45,227	245,010	100	245,110
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	121,540	78,242	45,227	245,010	100	245,110
のれん等償却除くセグ メント利益	33,006	11,229	6,493	50,729	△2,176	48,552
セグメント利益又は損 失(△)	31,856	11,229	△1,538	41,547	△2,176	39,370
のれん等償却除くセグ メント利益率(%)	27.2	14.4	14.4	20.7	—	19.8

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- 1) 外部顧客への売上高の調整額100百万円は、報告セグメントに帰属しない外部向け人材派遣による収入であります。
 - 2) セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,176百万円には、たな卸資産の調整額975百万円、その他△3,152百万円が含まれております。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「心臓血管カンパニー」セグメントにおいてSequent Medical, Inc.を買収しました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては21,492百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。